

—食を通じた健康づくりの取り組み—

アバローム紀の国の 新ヘルシー健康料理の 試食会が開催されました



ホテルアバローム紀の国では「美味しく健康に」をテーマに、日本高血圧協会和歌山支部長 有田幹雄教授（和歌山県立医科大学附属病院紀北分院長）の監修のもと、ヘルシー健康料理の開発と提供に取り組んでいます。

9月のメニュー改正に向けた試食会が6月19日にアバローム紀の国で開催されました。

当日は当健康メニューを監修した有田教授や栄養士長、医学部教授、報道関係者等が多数出席し新メニューを試食しました。有田教授からは「健康管理は日々の食事が大事。ひと工夫することで減塩になるので、家庭でも減塩食への取り組みを広めていただきたい。そのためにも、実際に食べてみるのが大事です。」と語られました。

今回の新メニューは、9月1日（月）からホテルアバローム紀の国宴会場又は各レストランでお召し上がりいただけます

和歌山支部では「健康セミナー」と題して、有田教授やメニューを開発したアバローム紀の国の総料理長、中国中央病院から先生を迎えてセミナーを下記のとおり開催します。また、当日の昼食にはこの健康ランチを提供します。

まだ会場の定員に空きがありますので興味のある方は和歌山支部あてご連絡ください。

健康セミナー 勝浦会場／平成26年8月20日(水) 10:30~15:30 サンかつうら
申込先／和歌山支部健康厚生班 TEL 073-441-3713



ふれあい広場



和歌山県立自然博物館

- 住所 海南市船尾370-1
- お問い合わせ TEL 073-483-1777
- 開館時間 9:30~17:00 (入館は16:30まで)
- 休館日 月曜日(祝日・振替休日の場合は次の平日)
- 入館料金
大人/470円
高校生/無料
小・中学生/無料
幼児/無料

和歌山県立自然博物館の新企画、「移動ミニ水族館」の第1回目が、6月10日に紀伊コスモス支援学校で行われました。

この企画は自然博物館の展示を学校で体験してもらおう！というもので、当日は魚などを観察する水槽だけでなく、ヒトデやウニ、エイなどを触れるタッチコーナーや動物の剥製（はくせい）、自然博物館の仕事が解りやすく説明されたパネルなど盛りだくさんの内容でした。特にタッチコーナーは子ども達に大人気で、本やインターネットの画像では得られない体験にみんな大喜びでした。

この移動ミニ水族館は、子ども達が自然に目を向けるきっかけを作りたいという思いで、支援学校や山間部、遠隔地の学校などを中心にこれからも活動するそうです。みなさん応援よろしくお願ひします！

平成25年度 決算の概要 公立学校共済組合和歌山支部

組合員数・被扶養者数

組合員数（現職）は、25年度末10,601人で前年度より114人減。任意継続組合員は、25年度末447人で1人増となっています。

区分	男性	女性	合計
組合員数（現職）	4,927人	5,674人	10,601人
任意継続組合員数	230人	217人	447人

被扶養者数
8,900人

短期経理

組合員とその被扶養者の病気、出産、死亡、その他災害等に関し給付を行う事業です。

組合員の掛金と地方公共団体からの負担金等で総額67億3,244万円の収入があり、これらの給付に要する費用は、30億3,843万円でした。



長期経理

組合員の退職後の生活の安定のため、退職共済年金、障害共済年金等の給付を行う事業です。

組合員の掛金と地方公共団体からの負担金、追加費用負担金等で総額179億9,662万円の収入があり、これらは給付に要する費用として本部へ送金しました。

住宅経理

地方公共団体が建設する教職員住宅に対して、共済組合の資金を投資するための経理です。教職員住宅の固定資産税等を和歌山県から一旦預かり支払いを行っています。

●教職員住宅総戸数 県と協力/252戸

貸付経理

組合員が、住宅の取得や被扶養者の教育等で資金が必要となったとき貸付けを行う経理です。

●貸付状況

種類	件数	金額
一般貸付け	53	72,700千円
住宅災害貸付け	0	0千円
住宅貸付け	14	83,498千円
教育貸付け	15	33,800千円
医療貸付け	0	0千円
結婚貸付け	3	6,000千円
葬祭貸付け	0	0千円
合計	85	195,998千円

宿泊経理

和歌山宿泊所「アバローム紀の国」・南紀保養所「サンかつら」を運営するための経理です。

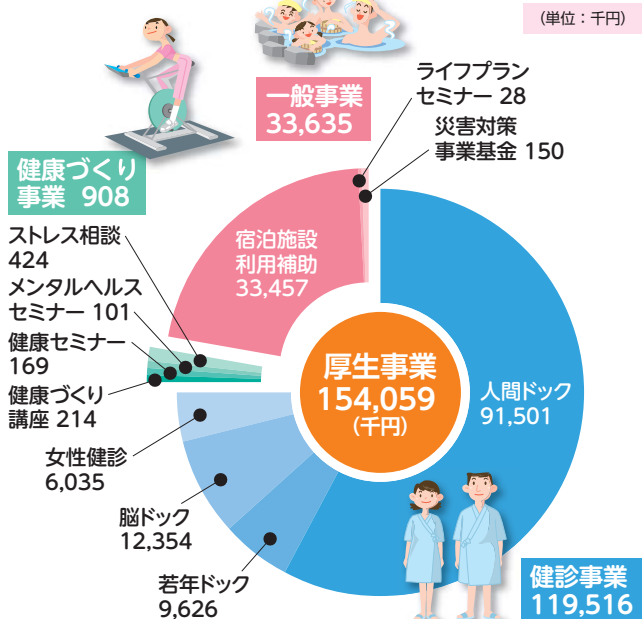
●施設状況

区分	アバローム紀の国	サンかつら
利用人員	309,819人	21,590人
収入	1,328,540千円	139,819千円
支出	1,275,962千円	135,749千円
損益	52,578千円	4,070千円

保健経理

組合員の健康の保持増進、元気回復等を目的として行う事業です。これらの事業に要する費用は、組合員の掛金と地方公共団体の負担金及び人間ドック等の実績に基づく雇用主からの負担金により実施しています。

●保健事業状況



平成26年度 健診事業 (人間ドック等) 受診決定結果

健診種別	申込者数	決定者数
3日コース	212	212
1日コース	2,096	2,096
若年ドック	322	322
脳ドック	449	449
女性健診 <small>*乳がん検診、子宮がん検診のみ含む</small>	967	967
小計	4,046	4,046
セルフケア(1日)	21	21
セルフケア(若)	1	1
計	4,068	4,068

